

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	綾瀬三田ビル	階数	地上5F
建設地	綾瀬市寺尾釜田2-19	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	100人
気候区分		年間使用時間	3,804時間/年
建物用途	集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2011年7月25日
敷地面積	6,190 m ²	作成者	熊谷組
建築面積	3,775 m ²	確認日	2011年8月10日
延床面積	15,341 m ²	確認者	熊谷組



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
参照値: 100%
建築物の取組み: 102%
上記+ 以外の: 102%
上記+: 102%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.9

項目	スコア
Q1 室内環境	3.0
Q2 サービス性能	3.0
Q3 室外環境 (敷地内)	2.8
LR 環境負荷低減性	2.6
LR1 エネルギー	2.2
LR2 資源・マテリアル	3.0
LR3 敷地外環境	2.9

3 設計上の配慮事項

総合	その他
耐火建築物により外壁はALCを使用し、内部では壁に断熱ウレタ吹きつけ(25mm)、天井にグラスウール(100mm)を使用する、断熱性能を確保する計画とする	特に無し
Q1 室内環境 耐火建築物により外壁はALCを使用し、内部では壁に断熱ウレタ吹きつけ(25mm)、天井にグラスウール(100mm)を使用する、断熱性能を確保する計画とする	Q3 室外環境 (敷地内) 運用上必要な部分のみ舗装とし、それ以外をできるだけ緑化に努め、植栽帯を設ける計画とする。機械設置場所も基礎以外を砕石敷きとし、雨水の浸透排水に努めている。
LR1 エネルギー 消費エネルギーの詳細を把握し省エネが可能な部品の検索に努める。また、LED照明対応も検討する。	LR3 敷地外環境 雨水浸透枳の設置により、公共下水道への直接放流を抑える計画とする。また、建物利用者のための駐車場・駐輪場を確保することにより、利用者の利便性と周辺道路での路上駐車防止を図る計画とする

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質)、**L:** Load (建築物の環境負荷)、**LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、**BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される